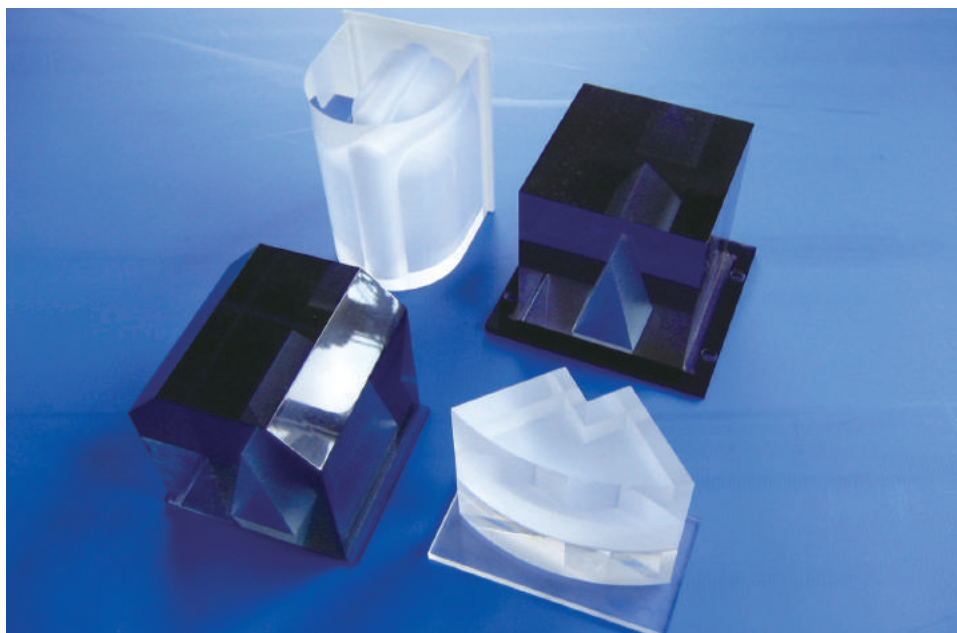


アクリル樹脂加工の プロフェッショナル

- 納期相
- 企画力
自信有
- コスト相
- オンライン
ワン技術
- メイドイン
ジャパン
- 試作可
小ロット
- 量産
対応



エレベーター向けなどのアクリル樹脂製品

業務内容
多品種・少量・短納期
切削から磨きまで一貫

プラスチックの切削加工メーカーとしてエレベーター・エスカレーターの意匠部品、デジタル家電やカーステレオ、携帯電話機など各種合成樹脂部品を製造販売する。生産は篠山工場（兵庫県篠山市）を核に多品種・少量・短納期に対応している。中でもアクリル樹脂のディスプレイ加工が得意である。切削から曲げ、接着、磨き上げまで一貫して内製化する。関連会社で三菱レイヨンと共同出資のマークオプト（守口市）ではプラスチック光ファイバー加工と応用製品、部品の加工を手がけている。

強み
大手エレベーターの意匠品で
重合接着や磨きの技術を向上

品質規格の厳しい大手エレベーターメーカーのボタン部分の意匠品などを扱い技術を磨いてきた。材料メーカーに規格のない厚みや色の組み合わせを重合接着技術で生産し、メーカー最大厚み規格に対して10倍の厚みやメーカーにない多色グラデーションにも対応している。アクリル樹脂の磨き技術はボタン部分の数字などの文字がはっきり見えるような透明度が重要。固体から液体まで複数の研磨剤を使用し、鏡面を仕上げる。土居大五社長は「光の強さを調整しながら四方から光を透過させキズやゴミを見逃さず透過度を見極めている」と胸を張る。

海外展開
中国・深圳に駐在員
協力工場活用で販路拡大

事業成長のキーワードに「グローバル

リゼーション」を挙げ海外販売を拡大する。営業グループでは海外協力工場を活用した量産化が軌道に乗つつある。平成25年度から中国・深圳に駐在員を置き、新分野へ販路拡大を目指している。先行して大手電機メーカー向けのスピーカーを中国でアセンブリさせて、篠山工場で最終検査をして納品している。一方、土居社長は米国の大学に留学し現地起業経験があり、将来は米国市場進出も視野に入れている。

今後の展望
実質不良品のゼロが目標
社内教育や新設備で技術UP

「大手エレベーターメーカーとは月に一度のペースで合同管理会を開き、実質不良品ゼロを目指していく」と語る土居社長。工場ではOJTプログラムやQCサークルによる社内教育を実施し、一層QCD（品質、コスト、納期）管理を向上させる。合わせて新規設備導入により技術の幅を広げ成長を目指していく。その中で平成24年度の中小企業庁の「ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」に採択され、アクリル意匠製品向け三次元加工技術と精密曲げ加工技術の成長に取り組んでいる。



篠山工場で一貫生産

COMPANY PROFILE

マーク工業株式会社

大阪25

ISO 9001

当社の歴史

当社は昭和44年に土居正明前社長（現会長）が創業。エレベーターの意匠品を中心に手がけてきた。大五氏が平成24年4月に社長就任時に創造、挑戦、成長の3つのHAPPINESS（喜び）実現を経営理念に掲げた。社員や会社に関係するすべての人のために実現できるように全力を注ぐ。



「2W3H」自他共にWIN・WIN関係構築。

代表取締役 土居 大五さん

■主な事業内容

エレベーター部品・意匠品、家電部品・ディスプレイ商品、工業用樹脂製品、自動化ラインの治具・バレット加工・組み立て、LED照明用樹脂パーツ加工および組立

■主な取引先（納入先）

エレベーターメーカー、家電メーカー、弱電系商社

住所 / 〒570-0043
守口市南寺方
東通1-4-10

TEL / 06-6996-1421

FAX / 06-6996-1592

創業 / 昭和44年12月

設立 / 昭和44年12月

資本金 / 2,500万円

従業員 / 31名

<http://www.mrkjp.com>